

授業科目名	ヨーロッパの文化と芸術	担当形態	講義		
		開講学期	秋学期		
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	2	年次	1

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

1. ヨーロッパの国々の文化・芸術と大きく関わる、神話とキリスト教についての理解を深め、各自が取り組む芸術作品の理解に役立てることを到達目標とします。
2. ヨーロッパの国々の文化、芸術、歴史、宗教等について学習し、教養を身につけます。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

真摯な態度で、文化を学ぶことのできる学生諸君の受講を求めます。  
 高校卒業程度の世界史(特に文化史)の時代区分の知識を前提とします。  
 ノートは、自分なりの方法で、しっかりとまとめ復習にも役立ててください。

### ＝授業の概要＝

ヨーロッパとは何かに始まり、その文化の根幹ともいえるギリシア・ローマ神話とキリスト教について、芸術とのかかわりを中心に学んでいきます。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：講義の目標や内容の確認
- 2回 ヨーロッパとは？
- 3回 ギリシア・ローマ神話 (1)
- 4回 ギリシア・ローマ神話 (2)
- 5回 キリスト教と聖書 (1)
- 6回 キリスト教と聖書 (2)
- 7回 ギリシア・ローマ神話と美術
- 8回 ギリシア・ローマ神話と音楽
- 9回 キリスト教と建築
- 10回 キリスト教と美術
- 11回 キリスト教と音楽 (1)
- 12回 キリスト教と音楽 (2)
- 13回 予備
- 14回 まとめ
- 15回 テスト (1)
- 16回 テスト (2)

### ＝テキスト（必携）＝

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

## **=成績評価の方法と評価の基準=**

評価は、周到な予習・復習に基づく能動的な授業への参加がなされているか否か、また、その結果としての習熟度がどうであったかで行ないます。つまり、テスト・レポートの成績及び平常点、出席状況を勘案して評価します。

テストは、二部構成で実施します。この2日間の試験を必ず受験してください。

## **=その他=**